

# 事業所職員向け 児童発達支援自己評価表

公表:令和2年3月16日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	16	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用児童が増えているため、部屋割り表を作成し、空き状況を互いに把握するように取り組んだ。</li> <li>・個別療育や集団療育の開始を待つスペースが十分でない。改善のため、待機場所用のクッションカーペットを購入した。</li> <li>・集団療育を実施する部屋のスペースが広すぎる。構造化の具体的な検討が必要である。</li> </ul>
	②	職員の配置数は適切であるか	4	16	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用児童の急激な増加があったが、職員が増えても、物理的に部屋の確保が課題となっている。</li> <li>・療法士の配置割合については様々意見があった。</li> <li>・集団療育では、個別的な配慮・対応を要するお子さんが増えてきている中で、職員の増員が必要と感じる場面もある。</li> <li>・支援外の事務仕事の削減・効率化が課題である。</li> </ul>
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	9	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・センター玄関に段差があり、年中児童以上の肢体不自由児や脳性麻痺児の親が抱えて移動している。昇降が大変である。築30年を超える施設であり、センター全体の課題といえる。</li> <li>・トイレについても改善の余地があり、という提起もあり、今後取り組んでいく。</li> </ul>
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	9	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委託業者により、定時清掃、整備が行われている。</li> <li>・窓の結露への対応が必要である。</li> <li>・スペースや備品の都合上、生活環境を整えるのが難しい時間帯がある。</li> <li>・おもちゃの消毒や整理を定期的に行えるとよい。</li> </ul>
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	13	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織全体の課題共有、解決改善に向けたサイクルの在り方が曖昧/プランにとどまり前に進めない/チェックが機能していない等の職員の意見があり、今後改善に取り組んでいく。</li> </ul>
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	15	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者アンケートを実施している。</li> <li>・保護者からの要望の高い「療育頻度の増加」については、利用児童数増加や職員体制の点で応じることが難しい。そのため、保護者が安心して子育てにいただけるようにする取り組みの検討が必要である。</li> </ul>
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	20	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公開を行っている。</li> </ul>
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	17	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に行っている</li> </ul>
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	18	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不定期に自主勉強会を実施している。</li> <li>・研修レポートの共有が一部の職員、管理職にとどまっている/全体としての学びにつなげていないとの指摘があり、次年度チーム会議内での共有を必須とするなどの取り組みを行っていく。</li> </ul>

適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	21	0	・随時、適宜、見直しを図っている
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	20	1	・使用し、適宜、見直しを図っている。 ・発達検査で未算出になるお子さんに対してのアセスメントツールの検討が必要との意見があったので、検討していく。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	19	1	・適宜、見直しを図っている
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	20	1	・適宜、見直しを図っている
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	18	3	・集団療育においては、Grスタッフ、個別スタッフで同じ目標を設定し、支援を行っている。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	16	4	・お子さんの姿に合わせて、内容の見直しを行っている。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	20	1	・集団療育では、Grスタッフ、個別スタッフで同じ目標を設定し、支援を行っている。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	18	3	・集団療育では、毎日Grミーティングを実施している。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	20	1	・集団療育では、毎回、活動後のフィードバックを実施している。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	21	0	・毎回の活動に対して、集団療育記録、集団療育利用児童経過記録・個別療育記録等の作成を行っている。
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	20	0	・6か月ごとのモニタリングを実施し、必要に応じて、児童発達等支援計画の変更を行っている。	
関係機関や保護	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	13	6	・当区においては、児童発達支援の利用に際しては、セルフプランが主であり、相談支援事業所との関係は少ない。 ・今後、乳幼児においても、相談支援が必要な児童に対する相談支援事業の十分な実施が課題である。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	20	0	・必要に応じて、保健センター・子育て支援総合センター・児童相談所等の施設の職員と連絡・情報提供・協力を行っている。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	11	1	

者 と の 連 携	②④	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	11	0	・保護者の同意を得て連絡をとっている。
	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	20	0	・電話連絡。保育所等訪問支援で共有を図っている。
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	20	0	・就学支援シートの作成や特別支援学校・特別支援教室等の担任とのひきつぎを行っている。
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	14	5	・地域療育連絡会に参加している。 ・公開療育を実施している。
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	15	・毎日通園型の施設ではないので、実施していない。
	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加しているか	11	8	・管理職が中心に参加している
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	21	0	・保護者同行の施設であるため、保護者が療育場面に参加する他、面談の機会を設け、子どもの発達状況や課題・望ましいかかわりなどについての相談を行っている。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか	4	13	・ペアレントトレーニングの技法は用いていないが、保護者同行の施設であるため、保護者が療育場面に参加する他、面談の機会を設け、子どもの発達状況や課題・望ましいかかわりなどについての相談を行っている。
	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	16	4	・契約は、子ども同行の場で行うため、十分な時間をとって説明できていない面もある。質問があればいつでも対応する旨、保護者に伝えている。
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	21	0	・支援にあたっては、児童発達支援等計画を作成し、保護者に説明し、同意を得ている。
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	19	2	・保護者同行の施設であり、毎回の療育に保護者が同席する。保護者の面談の時間も設け、保護者の相談に応じている。
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	15	5	・保護者交流会を実施している。
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	18	2	・みつばち園苦情受付簿の書式を整え、迅速に管理職に報告し、相談し指示を仰ぐ体制が整っている。また、苦情対応記録・結果報告の書式において、保護者からの申し入れに対して、適切な対応ができたかの検証を行っている。
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	21	0	・月ごとの会報(みつばちだより)を作成し、保護者に配布・掲示している。
	③⑱	個人情報の取扱いに十分注意しているか	19	2	・職員の机は共有スペースであり、個人で必要な物品を管理することが難しい。カルテの管理など、改めて職員に周知・徹底する必要がある。

	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	21	0	・子どもの段階・特性に合わせて、専門的な視点でコミュニケーションのツールを探りながら、子どもにとってわかりやすく提示し、理解が得られるまで、その都度対応している
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	19	0	・センター全体で、「センターまつり」を年1回開催している。
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	18	3	・マニュアルは作成・設置しているが、定期的な見直しを行っていないことが課題である。 ・感染症については、感染性胃腸炎の対応について毎年初冬に実施している。
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出 その他必要な訓練を行っているか	21	0	・毎月集団療育内で避難訓練を実施している。 ・年1回センター全体での総合防災訓練を実施している。
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	20	1	・インテーク面接時に保護者が持参する児童調査票に医療情報ページを設け、情報収集に取り組んでいる。 ・必要児童については、インテーク面接に際して、主治医からの意見書を持参するように取り組んでいる。 ・医療関係マニュアルを作成している。
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	21	0	・食事提供に際して、食物アレルギーのある児童については、保護者からの申し出により、主治医に「食物アレルギー疾患生活管理指導表」記載し、みつばち園に提出するようにしている。その後も栄養士・看護師を含めた委員会で、食事提供対応について、検討の上、保護者と確認し給食を提供している
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	21	0	・センター全体で、危機管理委員会を設けて、ヒヤリハット事例を共有・検討している。
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	19	0	・虐待防止委員会を設けて全体に共有している
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	7	10	・親子通所のため、子どもや保護者の意志に反しての身体拘束を行うことはないと思われる。 ・支援計画書への記載が現時点でないことについて、改めての検討を行っていく。

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。